

6月

ジャンル	配本日	ISBN 9784591	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
翻訳	6月12日	178102	世界で最後の花	ジェームズ・サーバー 村上春樹	1600	B5変形上製	112	作家、漫画家。雑誌『ザ・ニューヨーカー』の編集者・執筆者としても活躍した。普通の人々の欲求不満や奇抜さを描いた漫画で知られており、その時代の最も人気のあるユーモリストの一人。彼の短編『ウォルター・ミティの秘密の生活』は、1947年（邦題『虹を掴む男』）と2013年（邦題『LIFE!』）に映画化された。	第二次世界大戦が起きた世界。町も都市も、森も林も消え去った。ある日、残った一組の男女が世界で最後の花を見つけ、育て始める。次第に二人は愛し合い、子どもが生まれ、人間たちに活気が戻った。自然も文明も復活した。しかし、人間の心には再び不満が生まれ…。なぜ人間は戦争を繰り返すのか？ 第二次世界大戦開戦の直前に描かれた、今を生きる私たちに託された平和への願い。世界的ロングセラーを村上春樹の新訳で復刊。
レシピ	6月12日	178089	23時のおつまみ研究所	小田真規子 スケラッコ	1300	四六並製	192	料理研究家。栄養士。度重なる試作・研究の末に、食材や調理の原理原則を独自に導き出して概念化し続けてきた。『料理のきほん練習帳』（高橋書店）は、シリーズ50万部を超え、ロングセラーに。2016年料理レシピ本大賞inJapan 準大賞を受賞した『一日がしあわせになる朝ごはん』（文響社）など著書は100冊以上。	おつまみは料理にあらず「娯楽」なり。おつまみにはじつは「6つの軸」があった！ 香り・食感・塩気・うま味・温度・刺激…この6つを理解すれば、最小限の労力で、料理初心者でも最高のおつまみが作れます。「実験レシピ」も読みごたえアリ。残りの人生「全つまみ」が確実においしくなる、リピート続出のレシピ&新常識が157アイデア。人気漫画家スケラッコさん描きおろしの、マンガとイラストもたっぷりの「新・決定版」！
文芸	6月19日	178249	図書館のお夜食	原田ひ香	1600	四六並製	320	1970年、神奈川県生まれ。2005年「リトルプリンセス2号」で第34回NHK創作ラジオドラマ大賞受賞。07年「はじまらないティーツム」ですばる文学賞受賞。著書に『そのマンション、終の住処でいいですか？』『古本食堂』『老人ホテル』などがある。『三千円の使いかた』で第4回宮崎本大賞受賞。	東北の書店に勤めるものうまく行かず、書店の仕事を辞めようかと思っていた樋口乙葉は、SNSで知った、東京の郊外にある「夜の図書館」で働くことになる。そこは普通の図書館と異なり、開館時間が夕方7時～12時までで、亡くなった作家の蔵書が集められた、いわば本の博物館のような図書館だった——。「三千円の使いかた」「ランチ酒」の原田ひ香が描く、本×ご飯×仕事を味わう、心に染みる長編小説。

7月

ジャンル	配本日	ISBN 9784591	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
自己啓発	45125	178546	さみしい夜にはペンを持って	古賀史健	1500	四六並製	292	株式会社バトonz代表、ライター。聞き書きスタイルの執筆を専門とし、実用書、ビジネス書などで多くのベストセラーを手掛ける。2013年に出版した『嫌われる勇気』がミリオンセラーを記録、ビジネス書の地位向上に貢献したとして、2014年「ビジネス書大賞・審査員特別賞」受賞。	『嫌われる勇気』古賀史健が、はじめて13歳に向けて書き下ろした「書くことで自分を好きになる」本。他者より先に、自分との人間関係を構築しよう。うみのなか中学校に通うタコジローが、ヤドカリおじさんに出会い「日記を書く」ことを通じて新しい自分を見つける寓話。イラストもたっぷりで読書が苦手な子も読みやすい。なんとなくさみしい。なんとなく消えたい。そんな孤独な夜に寄り添い「ひとり」になる勇気を持てる一冊。
自己啓発	45110	168844	働く君に伝えたい 「考える」の始め方	囿口治明	1500	四六並製	192	立命館アジア太平洋大学学長。ライフネット生命創業者。著書に『働く君に伝えたい「お金」の教養』『哲学と宗教全史』『一気読み世界史』など多数。	SNSの意見が「自分の考え」になっていませんか。考える力を身につけたら、情報に振り回されず、「自分の考え」を持つことができます。そして、無駄に悩むことなく、ポジティブに生きられます。でも、これまで「考え方」を学ぶ機会はありませんでした。本書では、立命館アジア太平洋大学（APU）の学長が、これからの社会で役立つ「考え方」を、具体例を交えながら、わかりやすく解説します。
ノンフィクション	7月3日	172032	発掘調査をしていたら怖い目にあった話	大城道則/角道亮介/芝田幸一郎	1600	四六並製	248	●大城道則／駒澤大学教授。古代エジプト文化研究 ●角道亮介／駒澤大学准教授。中国研究 ●芝田幸一郎／法政大学教授。南米ペルー研究	ロマンだけでは食べていけないが、ロマンのない考古学なんてつまらない！墓石に閉じ込められたり、原因不明の病にかかったり、人骨と過ごしたり……発掘調査は命がけ！前代未聞、考古学者たちのノンフィクションエッセイ！